

鳥羽市地域公共交通会議 (離島航路)

平成18年12月28日設置
平成21年3月9日連携計画策定



概要

鳥羽市は、近鉄・JR、路線バス、市営定期航路等の多様な交通手段を有しています。また需要面でも市民の生活交通に加え、市の主要産業のひとつである観光産業に起因する観光交通を有しています。利用者数が減少する中で、路線バス・市営定期航路が一体となった「鳥羽市コミュニティ交通システム」の確立を目指し、様々な取り組みを進めます。(路線バスは別途掲載)

○新規開設航路の実証運航事業

・島周遊航路及び島間交流航路等新たな航路を実証運航し、交流人口(観光客の利用促進)増を図ると共に海上交通の利便性の向上を図る。

(i)循環航路の実証運航

- ① 循環線の新設: 島間交流、周遊観光への利便性の向上
- ② 高速船による運航: 運航に掛かる所要時間の緩和
- ③ 効率の良いダイヤの編成: 利用者の快適性、満足度の向上、運航基盤改善の進展、実験結果を踏まえ運航形態の改善・検証

(ii)新チケットの導入

- ① 周遊乗船券: 周遊観光を目的とした観光客の利便性の向上

○佐田浜マリンターミナル待合環境整備事業

・海の玄関口となる佐田浜港にターミナルの待合環境施設を充実し、「コミュニティ交通システム」の交通結節点として整備し効率化を図る。

- ① バリアフリー化による乗降時の安全と快適性を確保して、交通利用弱者でも利用しやすい待合施設とする
- ② 待合施設内に情報発信設備を設置し、鉄道やバスの乗り継ぎ利用案内をする

○高速船導入PR事業

・観光集客を中心としたPRで定期船利用を促進する。

- ① 高速船パンフレットと循環便ポスターの作成と配布PR
- ② 循環便航路のわかる時刻表の作成
- ③ ターミナル周辺にPRのぼりを立て集客をする

